研究課題名	広島野球障害検診による少年野球選手の運動器障害の疫学調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学　教授　安達　伸生
研究期間	2022年2月25日(倫理委員会承認後)～　2027年　3月　31日

対象者

2015年1月から2026年3月の間に、小学生・中学生を対象とした広島野球障害検診にて検診を受けた検診参加者。

意義・目的

野球によるスポーツ障害は肩関節や肘関節に多く、特に小学生や中学生などは無症状のまま進行することが多く、症状が出現した際には手術が必要なほど病状が進行していることが多いです。そのため無症状である早期のうちから障害を発見することが望ましく、若年者の野球選手の運動器障害を早期発見する目的で、広島県では小学生・中学生野球選手を対象とした広島野球障害検診というものを行っています。

野球選手に発生する運動器障害には、様々な患者背景が知られていますが、その全容は未だ不明です。そこで本研究では、広島野球障害検診で得られたデータをもとに、若年者の野球障害とその発生因子の検討を行うことを目的としています。

方法

本研究は，広島野球障害検診で得られた情報を調査して行います。広島野球障害検診プロジェクト委員会において、保管されている検診データから氏名や住所などの個人情報を削除し、誰のデータか分からないように匿名化したデータが、本学へ提供されます。匿名化データを共同研究機関と共有し、解析を行います。

使用する内容は年齢、性別、身長、体重、BMI、利き手側、投球側、打撃側、ポジション、野球開始時期、野球練習状況、傷害歴、既往歴、家族の喫煙歴などの人口統計学的データや、肩・肘・下肢・体幹などの理学所見、検診で実施したエコー所見、二次検診で得られたX線/CT画像/MRI画像などです。

個人を特定可能な情報は解析に用いません。

研究実施体制

共同研究機関：東広島医療センター（今田英明）、広島市民病院（夏恒治）、北広島病院（今田直幸）、林病院（小川拓郎・溝口裕章）、和光整形外科スポーツクリニック（前田慎太郎）

試料・情報提供機関：広島野球障害検診プロジェクト委員会

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科整形外科学　教授　安達　伸生

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合は、広島野球障害検診プロジェクト委員会（連絡先：seikei@hiroshima-u.ac.jp）までお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口
〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3
Ｔｅｌ：082-257-5232
広島大学病院整形外科　准教授　中島祐子、講師　横矢晋、助教　原田　洋平

研究機関：広島大学